

城東まちづくり通信第10号

平成25年11月15日版

～ひとの話 まちの輪 城東の和～



「第二十四回津山城東むかし町」

去る十一月三日（日）午前十時から、予定通り「第二十四回津山城東むかし町」を実施しました。

当日は、朝から小雨の降るあいにくの天候となり、一時雨脚が強くなって屋外での催し物を縮小しての開催となりましたが、この悪天候の中、非常に多くの来場者に恵まれ、また、事故もなく終えることが出来ました。

七月八日（月）実行委員会の初会合を皮切りに、四ヶ月に及ぶ準備から当日の本番まで、熱心に御支援・御協力をして下さった実行委員会役員並びに城東地区の町内会の皆様には、長期間、本当にお世話になりました。心からお礼を申し上げます。

本番当日は、あいにくの雨になり、折角準備をしてくれた「子供神輿」もかけ声だけの行進となって楽しみにしてくれていた子供達には、大変申し訳なく、来年こそは元気に神輿を担ぐ姿を見たいものです。

一日中続いた悪天候のため、屋外での催し物が次々と中止になる中、陸上自衛隊中部方面音楽隊のパレード並びに



グループ「結」の皆さんの沖縄民謡の演奏は予定通り実施して頂き、このむかし町に花を添えて頂き、重ねてお礼申し上げます。来年は、お天気に恵まれますよう、心から祈っております。



美作大学チャリティーマーケットに参加

マーケットに参加

今回、初めての試みとして、日頃この城東地区に御協力頂いている美作大学の東日本大震災支援のための催しに協力するため、十一月十日（日）網島広報部長が餃子と炊き込みご飯の店を出店しました。この催しは今回六回目を数えており、石巻市で震災に遭い居場所をなくした中・高生に居場所を提供する活動を行っている「ホットスペース石巻」を支援するため実施されているもので、当日はあいにくの雨模様でしたが、多くのお客様さんに恵まれ午後二時には完売、売上げの一部を寄付することが出来ました。この催しは趣旨としても大変有意義であり、今後も可能な限り協議会として協力して行きたいものと思っております。協力してくれました美作大学の学生さん達、有り難うございました。



城東まちづくり協議会第十七回理事会

去る十一月五日（火）午後七時から、役員十七名が参加して実施されました。報告並びに審議事項は、左記の通りです。

一 報告事項

後藤事務局長から、第二回目の空店舗対策事業について、報告がありました。十一月一日には「第五回空店舗対策機構会議」が実施され、今回十三の団体・個人からエントリーがあり、十二月に審査が行われます。

二 審議事項

① 「文化講演会」開催について

標記について、稲垣文化教養事業部長から説明があり、十一月二十三日（土）午後一時半から「津山城下町と城東地区」と題して実施することに決定、講師は津山郷土博物館館長の尾島治先生です。

② 「じば子のお家」文化祭について

現在整備中のじば子のお家で、十二月一日（日）に第四回目のじば子の文化祭を実施することで、意見が一致しました。細部については、実施日までに二回の実行委員会を開催して決定します。

③ 第二十四回城東むかし町反省会

標記について、十一月十一日（月）実施することになり、高田イベント事業部長から、皆さんから聴取した意見等について、協議会理事会で検討し改善を図っていくことになりました。

④ 空店舗等対策事業「麵屋ツナさん家（仮称）」

標記について、後藤事務局長及び綱島広報部長から、プラン並びに運営の細部について説明があり、今後更に詰め計画を実施することになりました。

⑤ 重伝建・建国1300年を契機とした地域興し事業

後藤事務局長から、県の補助金獲得のため、標記の計画書を提出した旨説明があり、了承されました。

⑥ 今後の大隅神社について

大隅神社と当協議会との関係について審議し、今後改善を図っていくことで意見が一致しました。



今後の理事会の予定

次回の理事会は、十二月二日（月）午後七時から、城東屋敷において実施致します。参加は自由です。役員にかかわらず、多くの皆さんの参加を希望致します。

編集後記

今回は、第二十四回津山城東むかし町の記事が大きくスペースを取り、また盛りだくさんの出来事があつて、十一月十一日のむかし町反省会の様子を載せることが出来ませんでした。皆様の貴重な意見は、今後、しっかりと検討し来年の「第二十五回津山城東むかし町」に反映させたいと思います。準備から実施まで、当日の悪天候もあり、城東地区の皆様にはご苦労をおかけしましたが、今後とも、どうぞよろしく御願い致します。このむかし町は、過去、紆余曲折を経ながらも二十四回という多くの回を重ねて参りました。これは、この城東地区に住む我々にとって大きな財産とも言えるものです。今後も引き続き、多くの参加者を募り、どうしたらもっといい形に出来るかを考えて、頑張っていきたいと思ひます。